

WEEKLY REPORT

2011-2012年度
国際ロータリー会長
カルヤン・パネルジー



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

承認/1965年6月25日
例会日/毎週木曜日 12時30分
例会場/江南商工会館1F 大会議場
江南市古知野小金112
TEL 0587-54-8132

事務所/江南商工会館別館1F
江南市古知野小金112
TEL 0587-55-6554 FAX 0587-59-7720
e-mail kounanrc@beach.ocn.ne.jp
会長/森弘好 幹事/川崎良一 会報・広報雑誌委員長/波多野智章

2012年(平成24年)1月12日(木)晴 第2309回(当年度第24回)例会

点鐘
司会
国歌斉唱
ロータリーソング
四つのテスト唱和

会長 森弘好君
SAA 杵本哲一君
「君が代」
「奉仕の理想」
杵本哲一君

— 言行はこれに照らしてから —

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

ゲスト及びビジター紹介

米山奨学生 林 開願君

会長挨拶

会長 森弘好君



明けましておめでとうございます。良い新年をお迎えることと思います。

平成24年は「壬辰」の年です。新聞やテレビ等の報道によりますと、過去「壬辰」の年は株価が上昇し景気も良くなるが多かったとのこと。今年に期待したいものです。

皆様におかれましては、鏡開きが過ぎ、正月気分も抜けて日々事業にまい進しておられることと思いますが、ここで「お正月」に関する雑学を1つ話させていただきます。

正月に飾る鏡餅の上には、代表的な縁起物の1つとして橙を乗せます。この橙という名の起こりはその面

白い性質に由来しています。橙の実には冬になると熟して黄色くなりますが、そのまま採らないで置くと、翌年の夏頃には色が変わり、もとの緑色にもどります。その実を、そのままにしておくとその年の冬には、また黄色くなります。このように、橙は実が木にある間は年々色変わりを繰り返す性質を有しています。そこで、「代々色変わりを続ける。」という意味で「ダイダイ」という名が付いたのです。「ダイダイ」は漢字では「回青橙」と書きます。「ダイダイ」をお正月の縁起物に使うのは、このように何度も「回青」を続けるところに、生命や家が途絶えることなく永遠に続く姿を重ねて観たのだと思います。なお、橙の寿命は約3年で、3度は色変わりを続けるということです。

こうした日本の伝統的な縁起物の正月飾りは、「正月を祝う。」とか、「新年の始まりに、気持ちを新たにす。」といった、日本人の精神的拠りどころとして受け継がれていくことと思います。

最後になりましたが、クラブも半期が過ぎ、いよいよ後半に入ります。会員増強に本腰を入れて頑張っていきたいと思っていますので、皆様方のご協力を御願い致しますとともに、本年が、皆様にとりより良い年となりますよう祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

幹事報告 —別紙— 幹事 川崎 良一君
祝 福 —別紙— 委員長 岩田 静夫君
出席報告 委員長 大池 武徳君

会員数	出席者数	欠席者数	出席率
50名	40名	10名	95. 24%
前々回(12月17日)欠席者 3名			
補正出席率 93. 18%			

ニコボックス 委員長 大池 武徳君

〇あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。年男の皆さん、卓話よろしくお願ひいたします。

森 弘好、富永 典夫、川崎 良一、猪子 明各君
〇新年おめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。年男の稲波八良君、景山芳樹君、川崎良一君、杵

本哲一君、猪子明君、卓話楽しみにしております。
米山奨学生 林開願君 ようこそ江南ロータリークラブへ

真野 琢也、伊藤 鶴吉、福田 清成、脇田 博治、
大塚 祥敬、丹羽 雄三、岩井 正彦、倉知 正憲、
安藤 喜代司、松岡 一成、庄田 元久、
古田 嘉且、早川 正輝、杉浦 賢二、稲山 赫己、
松井 智義、大池 武徳、伊藤 靖祐、澤田 昌久、
片平 博己、岩田 静夫、長瀬 晴義、清水 たま子、
波多野 智章、中村 耕司、水野 義勝、富田 清孝
各君

卓話タイム

「年男大いに語る」

稲波 八良君



明けましておめでとうございます。昨年はいろいろお世話になりました。今年もよろしく願いいたします。私、昭和3年3月1日生まれで、今年84歳になりました。実は、私、昭和3年2月29日生まれで、うるう年のうるう日に生まれたと、父から聞いております。だから、4年に一度しか誕生日がないから3年3月1日にしていたと聞いております。

今年は、辰年で辰は天に昇るといわれておりますが、私は、天に昇るのは、まだ、早い気がしますので、今年は、地面をはっぴいこうと思っておりますので、よろしく願いします。

川崎 良一君



入会以来二度目の年男の挨拶となります。辰年生まれは12支中で二番目に少ない1022万人で人口全体の8%だそうです。その辰年生まれの中でも昭和27年生まれは昭和51年生まれと並んで一番多いそ

うで、仲間が多く心強く思っています。有名人で同年生まれは、桃井かおり、さだまさし、夏木マリ、水谷豊、松坂恵子さんらがいます。昭和27年の出来事を調べてみました。同年4月にラジオドラマ「君の名は」の放送が開始されました。真知子と春樹が銀座・数寄屋橋で再会しそうになると不都合が起きて会えないという、その後の典型にして古典となった、脚本家 菊田一夫氏の代表作です。大変な人気を得、「番組が始まる時間になると銭湯の女湯から人が消える」と言われる程であったそうです。北海道での撮影中に主演の岸恵子が、あまりの寒さにショールを肩にぐるりと一周させ、耳や頭をくるんでいたところ、これが撮影でも使われ、有名な「真知子巻き」となったと言われています。同じく4月から、鉄腕アトムが「少年」(光文社)に連載され、昭和38年から昭和43年にかけて日本初の国産テレビアニメとしてフジテレビ系で放映され、平均視聴率30%を超える人気を博しました。

世界の平均寿命は男性が66歳、女性が71歳、男女平均が68歳だそうです。これに対し、日本のそれは男性が80歳、女性が86歳、男女平均が83歳であり、男性は世界第2位、女性と男女平均は世界第1位です。次回の「年男語る」にも元気に挨拶出来ればよいと考えています。今年一年よろしく願い致します。

「千丈の堤も蟻の穴から」

杵本 哲一君



あらためて新年明けましておめでとうございます。ロータリーの皆様におかれましては 賀詞交換会等の席で今年の十干十二支などのお話を多く拝聴していると思えます。

当方は この十干十二支にちなんだお話をさせて戴きます。

60年前のですが 英国の最新旅客機「コメット」が1947年初飛行に成功して依頼、1953年から連続墜落事故が発生しました。事故調査団は不審に考え、墜落機の破片を回収し徹底的に調査した。同機は 空気の薄い高々度を飛行する為、機内を加压して 空気の薄さによる搭乗員の体調不良を軽減させる装置が備えられていたが、これと、機外を高速で流れる空気による負圧の相互作用で 胴体が飛行毎に上空では膨張、地上では元に戻る繰返しをしており、これにより胴体外板が徐々に疲労し破壊が進行、墜落した結論を事故調査団は導き出しました。

問題は その場所です。強度は足りていたものの 外板の繋ぎ目のリベット穴付近から発生していたのです。つまり、外板厚や、リベットの穴径、その配列に問題

があったのです。以降、地上で何回も疲労破壊試験を繰返し、航空機の安全性が飛躍的に向上しました。

さて、英国といえば産業革命、1769年、ジェームズ・ワットによる人類史上初めて蒸気による動力機関を実用化した国である事は周知の通りです。この蒸気機関のボイラー等圧力容器の設計法にはその板圧や鋳穴径、配列が厳格に規定し、「コメット」事故当時、既に慣用基準となっていました。

英国の最新旅客機「コメット」開発設計者も驕らず、この古い蒸気機関の慣用基準を参考にしていれば避ける事が出来た事故だったのです。古い慣用基準、ルールとは、そこに多くの失敗や事故等の対策・経験が濃縮されたエキスのようなものです。

昔からの慣用基準、秘伝、家訓、十干十二支(暦)等、根拠の明確でないものが多いですが、其処には現代でも計算・解析等では導き出せない先人の失敗や経験、数理統計学が濃縮されており、これらを軽視せず敬意を示し ヒントや再考の機会を提供してくれていると考えれば、新年にあたり 新たな仕事や 今後の判断に有益で 失敗の軽減、「千丈の堤も蟻の穴から」を回避する手立てになるかもしれません。

猪子 明君



新年明けましておめでとうございます。

私は今年で48歳になります。私が生まれた昭和39年がどういう年だったかと言いますと、6月16日に「新潟地震」発生。死者26人を出し、液状化現象が問題となりました。

8月25日に私が一宮の地にて産声を上げるのですが、同日、丹羽雄三さんが38歳の誕生日を迎えます。10月1日、東海道新幹線が開通し、10月10日に東京オリンピックが開幕。東洋の魔女と呼ばれた女子バレーボールチームが見事金メダル。大松監督の「俺について来い!」が流行語となりました。

11月15日 - シンザン号。菊花賞を制して日本競馬史上2頭目の三冠馬となりました。ちなみにその年にセントラルリーグを制したのは、辰年ではありますが、ラスト9試合をすべて勝ち奇跡の優勝と謳われた阪神タイガースでありました。

また、別の視点で48歳を説明させていただきますと、昨年まで断続的に32年間続いた『3年B組金八先生』がファイナルを迎えましたが、その一作目がちょうど私の中三と重なっています。受験家庭ということでテレビ禁止令が出ていた我が家も「このドラマだけは見せてくれ!」と親に頼み込み必死で観ていました。クラス生徒役は、田原俊彦以外は全て中三でしたから、15歳の母役・

杉田かおる、父役・鶴見辰吾、不良女生徒役・今では国会議員・三原じゅん子、他、近藤真彦、野村義男、小林聡美、全て同い年ということです。それと、何ととっても、同い年で衝撃を受けたのは、早稲田実業一年生で甲子園・準優勝投手になった荒木大輔です。当時、こんなすごい同い年が存在することが信じられませんでした。

本来なら、「年男語る」では今年の抱負などを大きく語るのがかっこいいのですが、(実際、三年前、滝さんはこの「年男語る」で禁煙を宣言されました。現在も継続中かどうかはご本人に聞いてください。)

昨年、東日本大震災以降、家族が、おはようのあいさつで一日が始まり、笑顔で食事が味わえ、おやすみの言葉で床につける、このなんでもない生活が、実はすごく幸せなことであると感じました。そのなんでもない生活をしている我が家族のこの年末年始にかけての出来事を少しお話させていただきます。

家族例会では沢山の方に参加していただきありがとうございました。親睦委員会メンバーとしてお礼申し上げます。その家族例会には、入会以来、我が家族は五年連続出席させていただき楽しませていただいておりますが、今回は、次女が大学受験の追い込みということで私だけの参加となりました。その次女もいよいよ明後日からセンター試験を受けます。ピアノを生かして音楽の大学に行きたいということで、センターの勉強とピアノレッスンに励んでいます。できれば、本人の意向でありますし、授業料のことを考えても、第一志望に合格してほしいと父親としては願うばかりです。

そして長女は、四日前の日曜日に成人の仲間入りをさせていただきました。江南市の成人式は、40年前から、成人メンバーが実行委員会を作り、自分たちで作り上げ、そこに青年会議所がサポートする形式を取っています。自分がJCの頃は雪が降る中、文化会館の駐車場整理をした記憶がありますが、いよいよ今年娘がJCメンバーにサポートしてもらって年齢になりました。今年、南村君のご息子が実行委員長をされ、ゲストに中野友加里を迎え盛大な式典を行っていただきました。

長女には成人としての自覚を持って、大学を卒業した暁には、社会人として、職を通して世の中に貢献することを望むばかりです。

そして、ちょうど二週間前の年末29日に71歳になるお袋が、わが店舗の自動ドアで転倒し、頭部と腰を強打し、転倒しました。幸い頭部には異常が見つかりませんでした。腰の骨を折り、自宅療養中です。まさしく、文字通りの寝正月となりました。

もともと、今年受験生を抱えているということもあり、旅行とかの計画も無かったので大きなトラブルは起きませんでした。寝たきりの家族が出ますと、細々と家族一人ひとりに負担が出てきます。

幸せの基本は健康第一であります。自分の気力が続く限り、日課としている3.5km20分間のジョギングだけは続けたいと思います。

点 鐘 会長 森 弘好君
(担当 片平)